

令和5年度
事業報告書

公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会

令和5年度事業報告

自 令和5年4月 1日
至 令和6年3月31日

本年度は、第5期目の指定管理指定を受けた2年目でありました。

「府民の体育・スポーツの振興」「健康づくりの場として活用」「魅力的な花や緑の公園づくり」「観光拠点としての利用促進」「地域と連携した賑わいづくり」「子育て世代に優しい公園づくり」「広報活動の充実」を基本方針としてスポーツ推進事業自然文化事業、自然文化・スポーツ振興支援事業を積極的に展開しました。

公益法人として、使命感と責任感を持って、安定した経営確保にも努めました。

新型コロナウイルス感染症が、令和5年5月8日から国内での発生から3年余りを経て、感染症法上の位置づけが2類から5類感染症へと見直され、基本的な感染対策については自主的に取り組み、感染状況にも十分注意しながら事業運営を実施し前年度の約38万人から約3万人増え約41万人となりました。

事業全般としては、各種大会や合宿、イベント事業についてはそれぞれ徐々に増えてきました。ファミリープールにおきましては、7月15日(土)～8月31日(木)で、4年度実施した入場制限をなくして営業を行ない、25,000名余りの方々にご利用いただきました。

スポーツ振興事業では、施設の有効活用を図りながら、「テニス教室」「太極拳教室」などや、新たに「卓球教室」「ヨガ教室」を開催。「レディーススポーツデー」や「ヨガ教室」では、保育ルームを設け子育て世代が参加しやすい環境を整えながら事業を実施しました。

スポーツの普及・振興や参加者の親睦を深め地域交流の活性化を目的として「グラウンド・ゴルフ大会」「テニス大会」等を開催しました。障がい者スポーツにおいては、本年度は11回の開催で119名の参加。障がい者スポーツ交流大会は96名の参加がありました。冬期期間における利用者の拡大を図ることや、スポーツ団体の冬期トレーニングの場として活用をしていただくことを目的に開催しましたクロスカントリー大会も14回を数え、リピーターや地元スポーツ少年団や府下の中学校陸上競技部などから254名と多くの参加をいただきました。

京都トレーニングセンターにおいては町教育委員会、学校、関連団体へ訪問誘致活動を行いました。令和5年度は、一般利用が9,295名(測定・指導については13,163名)のご利用をいただきました。また、令和5年5月には、スポーツ庁が

「地域におけるスポーツ医・科学サポート体制構築事業」を公募。京都府と連携して応募し採択されました。全国で5機関が選定され、この取り組みを通じて地域のスポーツ医・科学支援体制の充実を図り、中高生や地元アスリートへの支援対象の拡大と質の向上を目指し取り組んでいます。このことにより、さらなる有効活用を図りスポーツ振興、地域振興に努めます。

文化事業では、「ガーデニング教室」「キノコ教室」「天文教室」など丹波自然運動公園や近隣の自然を活かした教室、「木工教室」「天体望遠鏡作り」「しめ縄教室」など親子、高齢者が一緒に学ぶ教室事業を開催し地域の交流や活性化を図ることができました。昨年度に引き続き子供たちにもっと星空や宇宙に夢や興味をもってもらいたいと、オンラインによるJAXA宇宙講演会や幼児向けキッズ天文教室を開催しました。

地域との連携事業では、地元団体と協働で開催し来園の方々にも楽しんでいただいている「京都丹波ロードレース大会」「京都丹波ふるさと特産展うまいもの市」「あっぱれたんぼ」や「京丹波マルシェ」等を開催しました。地元行政とは、京丹波町教育委員会との間で引き続き締結した協定書をもとに、健康・体力づくりサポート講座、ジュニアアスリート育成プロジェクト、小中学校運動能力等サポート事業、地元の中学校のクラブの医・科学サポートをはじめ、町保健福祉課から要請のあった特定保健指導対象者に対するトレーニング指導などを継続して行いました。

施設の管理運営では、常に利用者の目線にたった対応を心がけ、利用者が安心安全にご利用いただくために職員一人ひとりが危機感を持って事故防止に努めました。日常管理では、利用者が安心・安全、快適に公園を楽しんでいただくための適正な管理を行うため、管理に関する講習会等には職員が積極的に参加しました。また、丹波自然運動公園は、災害時の防災拠点として指定されていることから有事の際には当法人も全面的に協力できる体制を整えました。

今後も、時代に即した都市公園の役割「にぎわいのある公園」「安全・安心して過ごせる公園」を目指して、府民のニーズを取り入れながら地域交流の場及び府民の憩いの場として、公益目的事業を推進するとともに、安心・安全で快適な空間を提供し、豊かな「スポーツライフ」及び自然文化と親しむライフスタイルの確立に努めてまいります。

I 事業の概要

京都府との指定管理基本協定（令和5年4月1日）に基づき京都府立丹波自然運動公園における各施設の管理運営、スポーツ振興事業、自然文化推進事業及び自然文化・スポーツ振興支援事業、地域振興事業などの公益目的事業及び収益事業を行いました。本年度の主な事業概要は、次のとおりです。

1. 入園者数

総入園者数	410,525人
運動施設等	316,189人
フリーゾーン	94,336人

総入園者数は前年度比108.2%となりました。

2. 公益目的事業

(1) スポーツ振興事業

施設の有効活用を図りながら、府民の健康づくりや豊かなスポーツライフの実現を目的に多種多様なプログラムを設定し、誰もが気軽に参加できるスポーツの場として地域のスポーツ振興を促す事業

1) スポーツ教室

基本技術の習得と仲間との交流を広げるきっかけづくりの場を提供するとともに保育ルームを設置し子育て世代の女性が参加しやすい環境作りを企画しました。

本年度の保育ルーム利用人数は累計で31名あり、子育て中の女性からは、安心してスポーツができると好評を得ました。

地域交流、スポーツの普及・振興を目的

事業名	回数	延べ人数
レディーススポーツデー	35	1,078人
テニス教室	32	602人
太極拳教室	12	124人
卓球教室・練習会	17	162人
親子サッカー教室	1	48人
ツリークライミング教室	3	116人
ヨガ教室・親子ヨガ教室	14	113人
ウォーキングフットボール体験	1	34人
ノルディックウォーキング教室	1	14人
合計		2,291人

2) スポーツ振興・レクリエーションの普及

世代を問わずスポーツを楽しむ機会をつくとともに、利用者の親睦を深め、地域交流の活性化を図り、活力ある体力づくりの増進に寄与しました。

地域交流、スポーツの普及・振興を目的

事業名	回数	延べ人数
テニス大会	4	360人
グラウンド・ゴルフ大会	5	1,332人
ゲートボール大会	2	113人
クロスカントリー大会	1	254人
障がい者スポーツ交流会	1	96人
エンジョイテニス	44	382人
グラウンド・ゴルフのつどい	29	949人
障がい者スポーツのつどい	10	119人
合計		3,605人

3) スポーツ支援事業

主にジュニアアスリートを対象として競技力向上を図るための包括的な医科学的支援及び医科学的トレーニング可能な方を対象に健康及び体力を維持増進するための支援を行いました。

また、独自に京都スポーツサイエンスプロジェクト（KSSP）を府内競技団体へ展開し、データをとることのメリットについて理解してもらえるような取り組みをお行いました。

地域交流、スポーツの普及・振興を目的

指導内容	利用人数
健康体力相談	160人
測定	2,436人
トレーニング指導	5,803人
栄養サポート	893人
コンディショニング指導	2,599人
メディカルアドバイス	346人
メンタルサポート	513人
映像サポート	240人
能力検査	173人
合計	13,163人

(2) 自然文化推進事業

1) 文化教室

公園の持っている豊かな自然的条件を最大限生かして、心豊かで質の高い生活を送り、毎日の暮らしを楽しみ、文化と親しむライフスタイルの確立に貢献しました。

心身の健全な発達、豊かな人間性を涵養することを目的

事業名	回数	人数	備考
キノコ教室	1	27人	キノコの見分け方
手作り教室	3	55人	ミニ椅子、望遠鏡、しめ縄教室
ガーデニング教室	4	68人	季節の寄せ植え
天文教室	5	169人	月、星座観望
J A X A 講演会	1	36人	宇宙に関する講演会
キッズ天文教室	1	27人	幼児向け教室
天体観測		1,296人	
合計		1,678人	

2) 自然体験

農業体験等を通して、地産地消、子どもたちの食育、人々とのつながりなどを考える機会を提供しました。

心身の健全な育成を目的

事業名	回数	人数	備考
あっぱれたんぼ	1	79人	田植え
	1	53人	稲刈り
職場体験	2	5人	蒲生野中学校、瑞穂中学校
親と子の山村体験	1	35人	
合計		169人	

3) 作品展示

さつき・山野草展では、近隣の愛好家の作品を展示するとともに栽培方法等の情報交換の場としての役割を目的として開催しましたが、5年度は作品展示のみとなりました。菊花展では近隣をはじめ広く来園者に楽しんでいただくことで地域の活性化にも繋がりました。5年度は、京都府立須知高等学校をはじめ、町内から丹波ひかり小学校、下山小学校および蒲生野中学校の生徒さんが栽培された作品を展示いただき開催中は地元の皆さまはもとより、京阪神地域の皆さまにも多く作品を観賞いただきました。

地域社会の健全な発展を目的

さつき・山野草展	日 時	令和5年5月27日(土)～28日(日)
	入 場 者	110人
	内 容	丹波地域のサツキ・山野草の愛好家の作品展示と情報交換
菊 花 展	日 時	令和5年10月22日(土)～11月12日(日)
	入 場 者	3,300人
	内 容	丹波地域の菊の愛好家、須知高等学校、蒲生野中学校、丹波ひかり小学校、下山小学校の生徒及び公園の作品展示と情報交換

また、9月27日(水)～10月31日(火)までの間、宿泊棟玄関ロビーにて京都府南丹広域振興局との連携による2023南丹・京丹波林業振興展「府内産材もくもくコンクール作品展」が南丹・京丹波林業振興展実行委員会主催で開催されました。夏休みに作成された南丹市・京丹波町の小中学・支援学生のユニークな個性あふれる力作が数多く展示されました。

4) イベント

スポーツだけでなく公園の四季折々の美しさ、楽しみ方を知っていただくためにイベントを開催し、より多くの人々に来園していただくことを目的に実施しました。

実施に当たっては、様々な活動団体と連携・協働し、地域の公園としての位置付けを確立し、地域振興・地域の活性化に積極的に参画しました。

地域交流、地域社会の健全な発展及び心身の健全な育成を目的

丹波ちびっこまつり	日 時	令和5年5月5日(金・祝)
	入 場 者	8,000人
	内 容	消防・警察コーナー、ステージコーナー、お楽しみコーナー、FDコーナー、トランポリン、ウォークラリーなど、親子のふれあいや子どもの健全な育成を目的に開催
あっぱれたんぼ	日 時	令和5年6月4日(日)～10月8日(日)
	入 場 者	1,390人(うち催事2回132人)
	内 容	カエルをモチーフにしたたんぼアート。田植え及び稲刈りの農業体験と生育期間中のたんぼアートの鑑賞

森のバザール	日 時	令和5年9月23日（土・祝） 令和5年11月3日（金・祝）
	入 場 者	公園まつりでカウント
	内 容	「おしゃれ」をキーワードにした手づくり市
京丹波マルシェ	日 時	令和5年10月22日（日）
	入 場 者	1,350人
	内 容	京丹波町内のお店が創作したマルシェ特別メニューをはじめ、地元食材を使用した総菜や弁当、スイーツなどの販売ほか
丹波公園まつり	日 時	令和5年11月3日（金・祝）
	入 場 者	6,200人
	内 容	フライングディスク協会、ツリークライミング教室、南丹船井レクリエーション協会、と連携した遊びコーナーほか 同日開催；森のバザール
いとマルシェ	日 時	令和5年4月～令和6年3月 毎月第3木曜日
	入 場 者	692人
	内 容	平日に、手づくり品の展示販売やキッチンカー販売などで賑わう場を提供する

協力が主催するイベントの他にも、外部団体主催の持込企画イベント「京都ファミフェス in 丹波自然運動公園」「世界の青空0丁目」「おでかけWAWAWA in 京丹波」「Awesome Party」「Christmas Market by GREEN GREEN KYOTAMBA」には積極的に相談に応じ、開催に向けての協力を行いました。

外部団体のイベントを年間イベントに挟み込むことにより、来園される方々に多彩な楽しみ方を味わっていただけることとなりました。特に「Christmas Market by GREEN GREEN KYOTAMBA」は京丹波町のタウンプロモーション方針である「GREEN GREEN」を体現するイベントで、町内外の交流の場を作ろうと、官民連携プロモーション組織「京丹波イノベーションラボ」による初めてのイベント企画でした。公園としても夏に開催を予定していた夜間イベント「ナイトピクニック」が天候の都合により中止になったため、代替イベントとして協力して開催することとなりました。京丹波の食材を使った料理を販売するキッチンカー、個性的なアクセサリーなどが並ぶ物販、京丹波にゆかりのあるアーティストによるアコースティックライブ、盛りだくさんの企画が冬の寒い京丹波をあたためました。また、夜は町民や関係者によって作られた手作りランタンによって照らされる巨大クリスマスツリーと大きな焚き火を囲む2つの巨大ウォールが、幻想的な光景を作り出し、美しい星空の下で多くの来場者で賑わいました。

京都府南丹広域振興局との連携による令和5年度サイクルスタンプラリー「ツール・ド×京都丹波2023」にも参画しました。無料サイクリングアプリ「ツール・ド」を使用した非接触型のスタンプラリーで、当公園も昨年同様に発着地点としてコースの完走確認等を行ないました。

5) サポーター事業

公園の環境整備を府民みんなの手で美しくするとともに公園への愛着、また参加者の生き甲斐づくりの場として事業を展開しました。

毎月第3木曜日（8月、1月を除く）全9回、延べ72人

(3) 自然文化・スポーツ振興支援事業

1) 運動施設等の公益目的貸与

スポーツ目的での利用者に運動施設の貸与並びに健康で文化的な生活を推進するため文化活動等を行う利用者に公園施設を貸与しました。

スポーツ振興・心身の健全な育成及び地域社会の健全な発展を目的

施設名	利用人数
陸上競技場	66,547人
補助競技場	49,528人
テニス・バレーコート	52,702人
軟式野球場	25,873人
体育館	37,096人
球技場	28,214人
トレーニング棟	9,295人
運動施設合計	269,255人

施設名	利用人数
天文館	1,296人
研修室	16,461人

2) 宿泊施設の公益目的貸与

公益目的に合致する公園利用者に対して宿泊施設を貸与しました。

スポーツ振興・心身の健全な育成及び地域社会の健全な発展を目的

施設名	利用人数
宿泊所	22,816人

3) 施設の管理運営事業

安全・安心な公園を目指し、府民に親しまれる健全で快適な公園環境の維持管理を行うとともに、防災拠点として有事の際にその機能が最大限発揮できるよう行政との連携に努めました。

3. 収益事業

(1) 収1事業

1) 給食業務事業

新型コロナウイルス感染症が第2類から第5類感染症へと見直されたのを境に、順次遮へいビニールやアクリル板を撤去し制限を緩和し基本的には全面解除したが、基本的な感染症対策はとりながらbuffエ式での食事の提供をしました。

利用者のニーズにあわせた地元食材を使用した特別食（鍋料理やオードブル）や、利用者のご要望や相談に応じたアスリート食の提供も行いました。

2) レストラン、レストハウス、売店等業務事業

給食業務と同様に遮へいビニールやアクリル板を撤去し制限を緩和し営業を行ないました。また、春や秋の行楽シーズンには地域の高齢者サロン向けの食事プランなどの提供を行ない沢山の方々に利用いただきました。また、売店では、宿泊者や利用者の利便に供した雑貨の提供を行いました。

夏季には、南区域にレストハウス及び売店を開設し（プール開園期間中）利用者への軽食や物品販売サービスに努めました。公園宿泊利用者から要望の高いバーベキューも継続して提供し、地場特産品を使用したメニューの提供・販売を行いました。

また、公園の要所には自動販売機を設置し、利用者がこまめに水分補給できるよう配慮しました。

3) 請負業務事業

園内で開催されたゲートボール連合大会の会場設営業務を行ないました。また、園外事業として道の駅「京丹波 味夢の里」の維持管理業務を継続し、新たに道の駅「丹波マーケス」の清掃業務を行いました。

(2) 収2事業

1) プール管理運営

5年度のプールのオープン期間は、7月15日（土）～8月31日（木）で、4年度実施した入場制限を無くして営業を行ないました。

利用者 25,137人

2) パターゴルフ場の管理運営

パターのみで遊べる全18ホールの天然芝コースで起伏のある本格的なコースとなっています。

京都府が指定する子育て応援パスポート事業の対象施設であり、子育て世代の家族にも楽しんでいただきました。

利用者 5,293人

3) 施設の貸与

施設の貸与のうち観光やレジャー目的等の当法人の公益目的事業外での使用。

宿泊施設利用者	305人
研修室	0人
テニスコート	43人
野球場	0人
体育館	0人

トレーニング棟利用のうち健康体力増進等による器具の使用。

トレーニング棟利用者 9,295人

4) その他

デイキャンプサイトの貸出 89サイト 542人

キッチンカー出店

主に、土日祝の子どもの広場において出店いただきました。夏季のファミリープールでも試験的に数日出店いただきました。

累計52店舗

II 機関運営等

1. 組織体制

1) 役員等就任状況（令和6年3月31日現在）

役員

役職名	氏名
理事長	畠 中 源 一
副理事長	山 森 英 二
常務理事	大 西 義 弘
理 事	梅 原 好 範
	湊 友 三 郎
	中 越 豊
	堀 郁 太 郎
監 事	岩 崎 弘 一
	角 秀 一

評議員

役職名	氏名
評 議 員	松 山 征 義
	梶 本 正 徳
	松 本 和 久
	森 田 龍 矢
	松 村 健 一
	安 谷 一 秀

2) 事務局（令和6年3月31日現在）

事務局長（1）	総務課（5） 管理課（11） 業務課（13） トレーニングセンター課（7） ＊非常勤（10）含む
---------	--

2. 理事会・評議員会等の開催状況

(1) 理事会

1) 第1回理事会（定時） 令和5年5月30日（火）

決議事項

- ① 令和4年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会事業報告について
- ② 令和4年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会決算書の承認について
- ③ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力役員候補者の推薦について
- ④ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会評議員会の招集について

報告事項

- ① 職務執行状況の報告について

2) 第2回理事会（臨時） 令和5年6月28日（水）

決議事項

- ① 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会役員の理事長、副理事長及び常務理事の選定について

3) 第3回理事会（臨時） 令和5年9月22日（金）

報告事項

- ① 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会の令和5年度上半期運営状況ならびに下半期の見通しについて

4) 第4回理事会（定時） 令和6年3月11日（月）

決議事項

- ① 令和6年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会事業計画について
- ② 令和6年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会収支予算等について
- ③ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会評議員会の招集について

報告事項

- ① 職務執行状況の報告について
- ② 令和5年度決算見込みについて
- ③ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会職員給与規程の一部改正について（専決処分報告）
- ④ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定について（専決処分報告）

(2) 評議員会

1) 第1回評議員会 (定時) 令和5年6月19日 (月)

決議事項

- ① 令和4年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会事業報告について
- ② 令和4年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会決算書の承認について
- ③ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力役員候補者の選任について

2) 第2回評議員会 (定時) 令和6年3月21日 (木)

決議事項

- ① 令和6年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会事業計画について
- ② 令和6年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会収支予算等について

(3) 監事監査 令和5年5月18日 (木)

- ① 令和4年度事業報告及び決算概要説明
- ② 令和4年度決算

(4) 書面決議によるみなし決議

- ① 理事会 令和5年4月21日 (金)
- ② 評議員会 令和5年4月28日 (金)

決議があったものとみなされた事項の内容

(1) 評議員の選任の件

令和5年3月31日をもって辞任した評議員 堀本恒秀の後任候補者として 森田龍矢 (京都府南丹土木事務所長) を選任すること。

(2) 監事の選任の件

令和5年3月31日をもって辞任した監事 池田正康の後任候補者として 角 秀一 (京都府南丹広域振興局地域連携・振興部園部地域総務防災課長) を選任すること。

事業報告の附属明細書

公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に掲載しているため作成しておりません。